



統合小学校(重春小学校・芳田小学校)施設整備に係る基本的な考え方(案)

1 はじめに

- ・老朽化が進行している重春小学校校舎の改築(建替え)を行い、統合小学校として、安全・安心で質の高い教育環境の整備を行います。
- ・統合小学校と隣接する西脇南中学校との施設面での役割分担や機能連携等について、検討し、効果的・効率的に事業を進めます。

2 現状と課題等

○既存施設の状況

重春小学校は築年数が50年程度となっており、施設の老朽化や機能面での課題が生じています。令和7年に実施した耐力度調査の結果は次のとおりです。昇降口棟、屋内運動場以外が、建替えの補助事業に該当する点数(4,500点未満※)となっており、客観的にも改築検討が必要な施設であることが確認されています。

学校名	調査建物名	建築年	築年数	面積	耐力度点数
重春小	本館棟(南)	昭和47(1972)年	53年	2,903㎡	3,739点
	増築等(南)	昭和53(1978)年	47年	297㎡	4,233点
	昇降口	昭和47(1972)年	53年	602㎡	4,568点※
	校舎棟(北)	昭和47(1972)年	53年	1,923㎡	4,253点
	屋内運動場	昭和47(1972)年	53年	751㎡	7,050点

※全面改築の場合、特例により補助事業に該当する点数が緩和措置で5,000点に緩和されるため、昇降口棟も該当

○児童数・学級数(普通学級)の推移

統合予定年度(R12年度)で統合校の生徒数は570人、学級数は19学級を見込みます。なお、統合後10年程度で、学級数が12学級まで減少していく可能性があります。減少により生じる余剰に対して、どのような計画を行うかが整備上の課題になります。

	年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
統合小	新1年生数	113	98	91	98	88	82	77	78	75	71	68	67	64	62
	新1年生学級数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2
	全体数	756	722	675	643	600	570	534	514	498	471	451	436	423	407
	学級数	—	—	—	—	—	19	18	18	18	18	17	16	15	14

※令和8年度以降の新1年生数は、西脇南中校区の住基台帳、令和14年度以降(令和7年度生まれ)は推進計画の推計による見込数。また、校区外の小学校等へ毎年5%程度の児童が進学しており、それを考慮すると、学級数の減少が1年前倒しとなります。

○改築方針

全体的な事業計画を検討するうえで、一部の建物等を残すことは、建物配置計画上の制約等が大きくなるなど、現実的ではないことや、屋内運動場は、児童数に対して狭いことから耐力度点数にかかわらず、全ての建物を改築(建替え)します。なお、放課後児童クラブ(学童保育室)、倉庫等は、配置計画や劣化状況などを踏まえ、個別に検討します。

3 整備コンセプト

整備方針として、次の3つの方針を示します。整備コンセプトの「学びを、つなぐ」は、次の3つの場が、適切な機能分担や動線等を確保しながら、場の一部を共有し、それぞれの場で行われる学びをつなぐ、学びが世代を超えてつながっていくイメージを表したものです。

【コンセプト】 学びを、つなぐ

- 【方針1】 子どもの明日、将来へつなぐ、新しい学びの場をつくります
- 【方針2】 地域と学校をつなぐ、子どもや地域住民の交流の場をつくります
- 【方針3】 生涯学習活動等を通して、健やかな心身を育む場をつくります

上記の方針1~3を踏まえて、基本設計等で具体的な整備の方向性を定めます。

4 想定規模

想定規模は、現状の学校規模や統合時の学級数等から求められる法令等面積を踏まえて、必要諸室や室面積の精査を行い、基本設計等において検討を進めます。なお、児童数の減少が見込まれることから、現状や将来を見通して、過剰な規模とならないように留意します。

	建物名	現状面積	法令等面積
1	校舎	5,839㎡	6,290㎡
2	屋内運動場	751㎡	1,215㎡
3	倉庫等	318㎡	—
4	学童保育室	343㎡	—

※法令等面積とは、補助事業の補助対象となる上限面積であり、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令に基づき求めた面積です。統合時の学級数19学級、特別支援学級3学級、多目的教室加算を勘案した場合の基準を算定しています。

○公共施設適正化の検討

公共施設マネジメントの観点から、施設の更新を検討する際には、施設の複合化や多機能化等の検討が求められており、効果的・効率的な事業となるよう基本設計等で検討します。

5 事業計画

○配置計画

重春小学校の良好な教育環境を継承しながら、現在の敷地内で校舎・体育館を建て替えることで、統合小学校としての教育環境の向上・充実を図ります。

現・重春小学校敷地内で建替え

配置計画

※施設配置については、敷地条件等から、教育環境に配慮すると、現状の校舎配置と同様に重春小学校敷地の北側が望ましいと考えていますが、工期やコストを踏まえ、基本設計等で検討します。

○事業費・財源

基本設計等で規模や仮設建物を極力少なくする等でコスト縮減を検討します。また、文科省補助事業など、有利な財源を活用し負担軽減を図ります。

○スケジュール

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度~
実施内容	耐力度調査	基本設計	実施設計	本体工事	